



高齢者総合ケアセンターこぶし園におけるICTの 導入と活用の実際



社会福祉法人 長岡福祉協会
高齢者総合ケアセンターこぶし園
吉井 靖子

ICTと高齢者総合ケアセンターこぶし園

平成15年 「未来志向研究プロジェクト」開始

平成18年 「厚生労働省研究事業 テレビ電話」

平成23年 「経済産業省研究事業」・・・訪問介護

Galaxy tab

平成24年 「経済産業省研究事業」・・・訪問看護

「在宅医療連携拠点事業」・・・訪問看護

Galaxy tab

平成25年 「新潟県小規模多機能型居宅介護見守り

強化型モデル事業」テレビ電話の活用

ICT活用に至る研究事業協力①



病院・施設のナースコールと同様、
在宅でのナースコールは**テレビ電話**で対応する

平成18年 厚生労働省研究事業 テレビ電話



ICT活用に至る研究事業協力②

平成23年 経済産業省研究事業

ICTを活用し業務の効率化を図る

NTTdocomo : Galaxy tab



携帯型プリンタ



業務の効率化とリアルタイムでの情報共有が可能となる

平成**23**年 訪問介護導入にあたり

(業務状況)

- 月末月初の給付管理業務の多忙
- 申し送りの重複
- 記録物の時間外業務
- 職員間の情報共有のタイムラグ
- 管理業務の多忙



訪問介護の業務効率

・業務の効率化

記録物の効率

管理業務の効率

給付管理業務の効率

・情報の共有化

ミーティングの効率化

リアルタイムな情報

・その他

カメラ機能より詳細な伝達が可能

医師への垣根が低くする効果

複数回の訪問介護の「点」から「線」へ

平成**24**年 訪問看護導入にあたり

- 手書きによる訪問看護計画書・報告書
- 管理業務の多忙(シフト表・日報作成)
- ステーション帰宅後の各関係事業所への連絡などや記録の整理



訪問看護の業務効率

- ・業務の効率化

 - 看護記録の効率

 - 看護報告書の効率

 - 管理業務の効率

- ・情報の共有化

 - リアルタイムな情報

 - 医師の状況に気兼ね

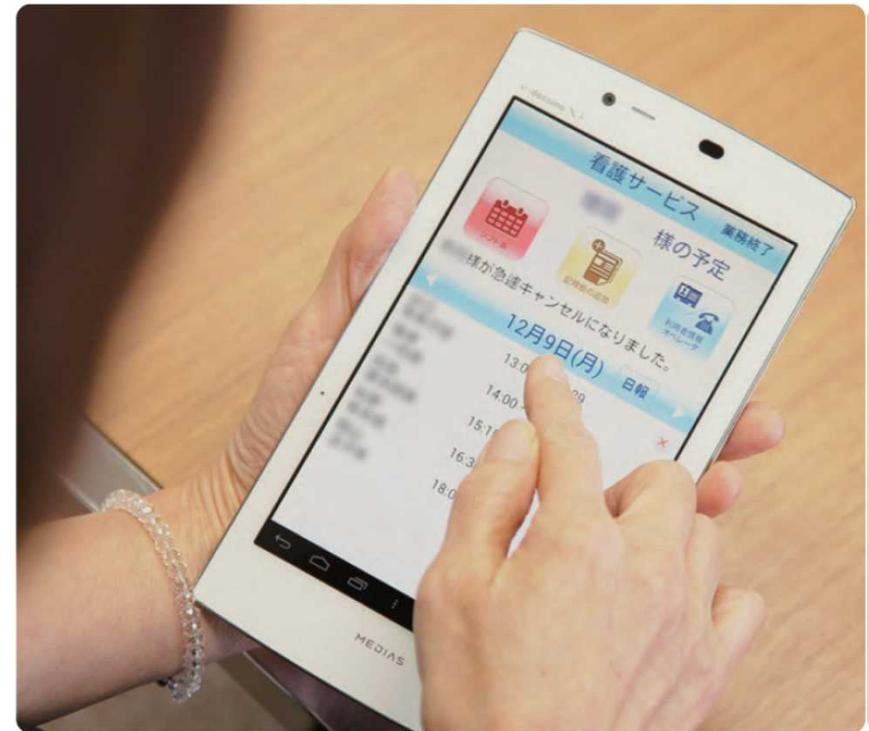
 - なく報告可能

- ・その他

 - 医学辞典・薬剤情報がいつでも閲覧可能

 - 各スタッフへの随時連絡が可能

朝のミーティング風景



ICTを地域に拡大

H23年度 訪問介護・H24年度 訪問看護で
先行してICTを導入していたものを在宅医療
連携拠点事業の対象地域に拡大し在宅医
療と看護・介護をシームレスに連動させた

*「介護システム」

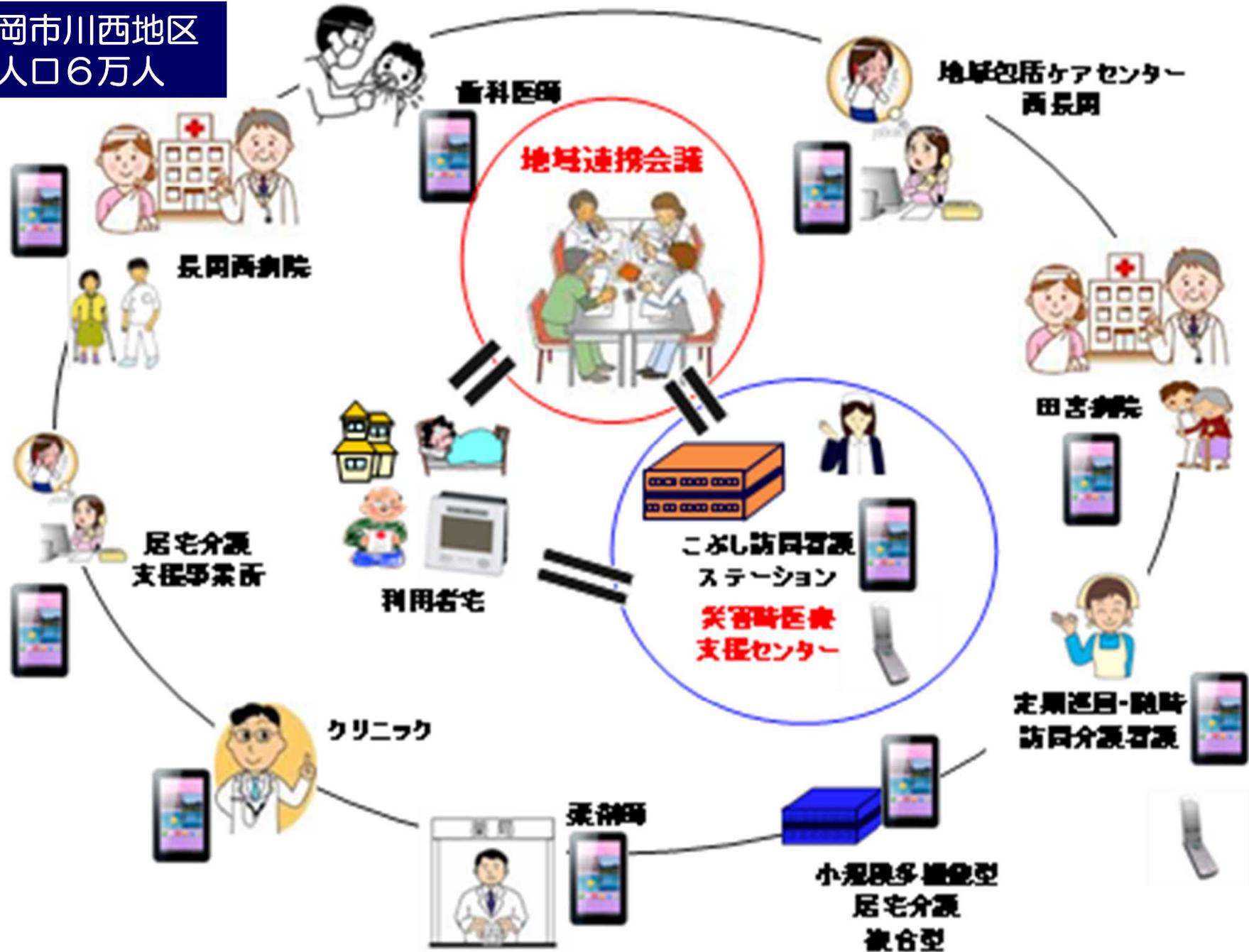
*「看護システム」

*「連携システム」



在宅医療連携拠点事業(復興枠)のイメージ

長岡市川西地区
人口6万人



連携システムの有効性として

月1回のモニタリング表での状態報告よりリアルタイムに状況がわかる。

- 多職種が同じ視点で情報共有できる。
- システムを利用することで、情報共有のタイムラグが緩和される。
- 医師は往診に行く前に予備知識を得てから訪問ができ、診察に役立てられる。
- 医師側からも情報発信が出来るので、訪問看護・介護に対して自身の考えを直接伝えられる

地域包括ケア推進協議会

- 平成27年度の取り組み
重点項目の一つとして
「地域医療連携システムの構築」
Tabiet「Teem」により、医師、訪問看護、病院
等の情報連携

* 医師会、長岡市、訪問看護ステーション
で検討中

おわり

・利用の効果

- 1、職種、距離を越えリアルタイム情報共有
- 2、サービスの均一化と質の向上
- 3、記録業務の効率化
- 4、情報伝達の精度の向上
- 5、災害時の基本情報担保としても効果
- 6、その他

紙 → タブレット

- ✓ 手書き作業中心
- ✓ 紙・メモから記録紙・帳票類へ転記
- ✓ スケジュール管理も手作業＋電話
- ✓ ファイルに綴じられてキャビネットへ
- ✓ 写真を個人の携帯やカメラで撮影※違法
- ✓ 報告書をメモみながら作成
- ✓ 請求業務 → 手入力作業による集計

レ点中心に入力を簡素化

転記作業を削減

タブレットでスケジュール簡単
作成

一度入力した事項が共有へ

記録紙と連動しクラウド保管

自動作成＋履歴表示

CSVで掃出→取込 ※

フルタイムフルサービス

(3食365日の配食と24時間365日連続する支援体制)

+

ICTの活用

(在宅とスタッフを結ぶTV電話システム)

(関係者を結ぶタブレット)



地域包括ケアシステム

